

党勢拡大を自分の課題に＝「私の月間」ファイト！

新型コロナ感染者の情報を県と市町村で共有を！ 必要な支援を届けるために

北名古屋市、知立市はじめ、多くの自治体議員から、陽性者の中で自宅待機を余儀なくされている方の情報が県（保健所）からいっさい得られず、支援の手が届かない！との声が届いています。日進市や東郷町などからも、独自に買物サービスなど陽性者や濃厚接触者への支援制度をつくったのに、必要な情報が県から全く与えられていない！との声が寄せられています。

 感染者が大都市部以外にも広く拡大しているにも関わらず、感染者に関する情報（重症なのか？入院できたのか？自宅待機なのか？濃厚接触者はいるのか？など）が、県（保健所）と市町村とで共有されていません。9月議会での大きな課題です。

保健所を持つ政令市や中核市と、それ以外の市町村との情報格差は放置できません。保健と福祉の統合と言いながら、縦割りバラバラです。

市町村で困っていることをはっきりさせながら、力を合わせて県に情報公開を迫りましょう！9月で質問する予定、保健所と懇談した、など、地方議員のみなさんの取り組みを自治体部まで集中してください。

10万円の特別定額給付金

1人も残さず申請へ最後の詰めを！

10万円の特別定額給付金、最後の1人まで申請できるよう粘り強い働きかけが必要です。

名古屋市は締め切りが9月1日。8月18日現在、96.7%の申請率、あと3万7103世帯です。14日には未申請世帯にはがきを送り、18日には新聞広告を出しました。介護保険や生活保護担当にも協力を要請しています。

総務省によれば、8月14日時点で予算額のうち98.3%が給付済み。

県下では約半数の28自治体が既に申請期限を過ぎました。各自治体の申請率や申請勧奨の取り組みを自治体部までお知らせください。



やっだね

定員制限に見合う

公共施設使用料を減免

新型コロナの関係で、公共施設の使用にも様々な制限ができています。利用可能人数の制限を課している施設も少なくなりません。

半田市では、市民交流センターや文化会館、公民館など、利用定員を半数以下にした26施設の会議室やホールについて、使用料を半額に減免しました。

東海市でも、横須賀図書館会議室や市立文化センターの使用料を  利用定員の制限にあわせて半額に減免しました。

岡崎市では、アーティストや文化芸術関係者の展覧会やスポーツ観戦等の支援として文化・スポーツ施設の使用料の一部を減額しています。

半田市や東海市は、この対象を一般市民の利用に広げたもの。地方創生臨時交付金も公共施設の減免に活用できるとのこと。

感染拡大に注意を払いながら、市民の活動を応援する仕組みです。

みなさんのところでは、公共施設の利用制限に見合う使用料になっていますか？あらためてチェックしてみましょう。

PCR検査の拡充を求める要請署名は、9月9日に愛知県と名古屋市に提出する予定です。集約を急ごう！

愛知社保協からお知らせ

介護問題学習会

第8期介護保険計画の基本指針と今後の運動 講師＝全日本民連 林事務次長
・8月28日(金) 10時～労働会館東ホール

国保改善運動交流集会

国保の現状と2021年運営方針改定に向けた課題 講師＝長友薫輝三重大教授
・9月27日(日) 労働会館東ホール

自治体キャラバン

10月20日～23日を中心に5コースで実施
県交渉11月25日 名古屋市交渉11月2日

今年もよろしくお祈りします。